

ビジョンの重点方向		前期アクションプランの施策	委員会での意見	アンケート調査結果
1 成長を目指す事業者の活力向上	1) 事業活動の価値向上	(1) 中小製造業者等に対する巡回訪問の強化とプロジェクト化のサポート (2) 茨木ブランドの創出と発信 <b>企業との信頼関係</b> (3) <b>ビジネス交流機会の充実</b> (4) 生産設備等の環境対応促進と環境産業関連情報の提供	<p>民間のアクションやアイデアを引出す仕掛け 民間のチャレンジを応援する環境</p> <p>↓</p> <p>ひと(事業者)が元気になる 事業者の競争力が高まる</p> <p>↓</p> <p>新たなビジネス 雇用の創出 まちの元気</p> <p>↓</p> <p>地域の「強み」が付加価値につながるような取組を</p> <p>↓</p> <p>「茨木らしさ」を見つける・伝える</p> <p>↓</p> <p>“ I Love いばらき ”</p> <p>茨木市を取巻く環境(変化を含む)</p>	<p><b>変革</b> <b>販路拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中堅中小企業への支援が重要。</li> <li>歴史はあるが市民に知られていない企業、製品等の認知向上を。</li> </ul>
	2) 創造的機能の集積と企業立地の促進	(1) クリエイターと事業者との交流機会の充実 (2) 市内企業に対する操業継続の支援 (3) 企業立地の促進への支援		<p>「クリエイター」とは、それを業としている人だけではない。 大学(学生)との連携等でも、解決策が見つかるのでは。</p>
	3) 起業の促進と成長支援	(1) 創業セミナー等の実施と創業志望者へのサポート (2) チャレンジショップ、インキュベーションスペースの検討 (3) 彩都のライフサイエンス関連企業のPR支援		<p><b>人材育成</b> <b>女性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアを持っている人が、相談しやすい環境が必要。</li> <li>伴走型のワンストップ窓口があれば良い。</li> <li>創業希望者の発掘方法・軌道に乗るまでの支援の検討。</li> <li>開業のセンス・アイデア育てる手法の検討。</li> </ul>
2 市民の快適な暮らしや地域社会を支える機能	1) まちのにぎわい創出	(1) 商店の魅力アップ支援 <b>民間主体のイベントの定着</b> (2) 茨木ブランドの創出と発信 (3) <b>提案公募事業の創設</b> (4) ホームページ、情報冊子などの情報発信	<p>市民のアイデアと事業者をつなぐことができれば良い。 アイデア(企画)を持つ人の発掘。 事業化へ向けてのワンストップ窓口がほしい。</p>	<p><b>ワークショップ</b></p> <p>【商店街】 ・空き店舗対策の今後の意向 「創業者支援(チャレンジショップ等)」3商店会</p> <p>【大学】 ・6大学・短大で、起業家教育の取組が行われている</p> <p>【起業家】 ・起業時、具体的な内容を学べるセミナーがあれば良い ・起業後、「何でも相談できる窓口」がほしい</p>
	2) 地域の生活支援と快適性の向上	(1) 商店街等による生活支援サービスの取組支援 (2) NPO等に対する生活支援サービスへの取組意向の把握 (3) 商店街等における生活利便施設等の整備支援	<p>高齢化が進行(元気なシニア世代) → コミュニティビジネスやソーシャルビジネスの幅が広がるのでは。</p>	<p>【商店街】 ・商店街の活性化に向けて 現在、実績の少ない取組に対する意向が強い 「不足業種の誘致」「新たなサービスの提供」など</p> <p>・地域から期待される役割 「地域のにぎわい創出」と回答する商店会が多い</p>
	3) 地元産農産物の流通の促進	(1) 消費者と生産者の交流の促進 (2) <b>茨木ブランドの創出と発信</b>	<p>近郊で新鮮な野菜が採れることを魅力として発信する。 積極的な農業者と商業者等のマッチング。 消費者ニーズがあることは確実 → そこを農業者にアピールしては。</p>	<p>【商店街】 ・地域から期待される役割 「身近な購買機会の提供」7商店会 「治安や防犯への寄与」6商店会</p> <p>・空き店舗対策の今後の意向 「子育て支援施設」「休憩所等」2商店会</p> <p>【商店街】 ・今後、連携したい地域関係者 「農業関係者・団体」2商店会</p>
3 産業を活性化させる基盤づくり	1) 連携の促進	(1) ビジネス交流機会の充実 (2) 大学の新規立地の機会活用に向けた調査・検討 (3) 市民向けの産業PRイベントの開催検討 (4) <b>民間の自発的な取組を誘発する仕組みの整備</b> <b>多様な民間主体の取組・連携</b>	<p><b>連携</b> <b>大学の活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人が主体的に参加してもらえるような機運を。</li> <li>「つなぎ」の機能を充実させることが重要。 → 信頼関係を構築し、持続させることが大切。 ネットワークを築きながら成功事例を。</li> <li>「産学連携のまち いばらき」 社文系も含めて</li> </ul>	<p><b>ワークショップ</b></p> <p>【事業所】 ・産学連携をしていない理由 具体的に何を頼めば良いかわからない 進め方(方法・手順)が分からない</p> <p>【産学連携の推進に必要なもの】 事業者 - 大学との交流、情報提供 商店街 - 大学との交流、窓口の明確化、情報提供 大学 - 情報提供、事業者との交流</p>
	2) 人材の確保と育成	(1) 国・府等の雇用施策・人材育成施策の活用 (2) ビジネス交流機会の充実 (3) コーディネート機能の強化 (4) 研修講座の開催、受講費用の助成 (5) 企業や商店の魅力発信できる機会の充実	<p><b>人材育成</b> <b>女性</b></p> <p>【人材確保】 ・大学生や地域に、市内企業の強みを伝えることが大事。</p> <p>【人材育成】 ・企業：トップを育てる + No2を育てる。 ・大学と連携し、技術以外(経営や論理的思考など)を教育する方法も有効。 ・「茨木で働くこと」について、「やりがい」や「働きやすさ」が付加価値になれば良い。</p>	<p>【事業所】 ・特に育成に力を入れたい階層と能力 中核人材 - 業務に必要な基本的技能 (約40%)</p> <p>・利用したい(しやすい)人材育成方法 社内での業務研修 (25%) 社外研修(単発) (23%)</p> <p>・人材育成の課題 指導・育成できる人材の不足 (約25%)</p>
	3) 支援機能の充実	(1) 産業支援関連情報の各媒体による提供 (2) 市の産業支援機能の強化と関係強化の連携強化	<p>高交通利便性 JR(仮称)総持寺駅の開設 (H30春予定) 新名神高速道路の延伸(H31予定)</p> <p>大学、研究機関等の集積 6つの大学(短期大学含む) 彩都西部地区-ライフサイエンスパーク</p> <p>国際戦略総合特区の指定(H23~) 彩都西部地区・東芝工場跡地</p> <p>人口の動向 少子高齢化・生産年齢人口減少の傾向へ</p> <p>産業構造等の動向 市内事業所数・従業者数・製造品出荷額等の減少傾向</p> <p>国の法制度の動向 産業競争力強化法の施行(H26.1) 小規模企業振興基本法の施行(H26.6)</p>	<p>様々な支援機関をプランの枠組の中に</p>

フォーカスをあてる(特化する)政策

後期アクションプラン施策(案)
(1) 市内事業者の事業活動への支援の充実 (2) 産業活性化や高付加価値化等につながる事業者主体の取組の促進 (3) 設備等の環境対応促進と環境産業関連情報の提供
(1) 創造的機能の強化に向けた取組の充実 (2) 市内事業者に対する操業継続の支援 (3) 企業立地の促進への支援
(1) <b>起業・創業に触れる機会づくり</b> (2) <b>起業・創業の支援の充実</b> (3) <b>起業後のフォローアップの充実</b>
(1) 商店の魅力アップ支援 (2) 人が集まり、滞留する仕掛けづくり
(1) 商店街等による生活支援サービスの取組支援 (2) 商店街等における生活利便施設等の整備支援
(1) 消費者と生産者の交流の促進 (2) 農工商連携の促進
(1) <b>連携を生み、育てるための仕組みの整備・強化</b> (2) <b>産学連携に取り組みやすい環境づくり</b>
(1) 事業者・人材のコーディネート機能の強化 (2) 職業能力の向上にむけた支援 (3) 働きやすい職場づくりの促進 (4) <b>市内事業者の人材育成への支援</b>
(1) 産業支援関連情報の各媒体による提供 (2) 市の産業支援機能の強化と関係機関の連携強化